

大学の世界展開力強化事業（平成25年度採択）事後評価結果

大 学 名	上智大学
整理番号	5
事 業 名	多様性の調和を目指す学融合型の人間開発教育プログラム

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

(総括評価) <b style="font-size: 2em;">A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
(コメント)	<p>本プログラムは、ASEAN と日本の学生が共に学び合う協働教育のプラットフォームを構築し、共同体形成の柱とする多様性の調和とそれを支える人々の連結性に貢献する次世代人材を育成するために、多国間における問題発見型の教育を提示・実践したものである。</p> <p>欧米を中心とする多くの国々との交換留学等の実績を活かして、既存の自然科学、社会科学及び人文科学の枠組みを超えた学融合的な実地研修型交流プログラムにより構築された質の高い教育が実施されており、学融合型科目を核に、新たな学位取得プログラムを構築しようとする意欲は高く評価できる。また、専従教員を採用し学生に履修指導・助言を行ったことや、受入学生に大学の国際交流会館を宿舎として提供することで日本人学生や地域住民との交流の場を整備する等の工夫がみられた。この他にも、プログラムの運営体制を整え、派遣・受入学生への種々の支援を図ることで、新たにASEANの大学との学生交流プログラムを確立し、派遣・受入ともに学生交流が促進された点も評価できる。さらに、学修面での各種制度により、計画された取組が着実に実施され、補助期間終了後の継続性についても、これまでの運営・実施組織を通常組織に継承・発展させつつ、相手大学を拡大し学生交流数の底上げを目指した取組を開始しており、本事業を核とする教育のグローバル展開の強化が確実に期待できる。</p> <p>英語による開講科目及びAIMS関連科目を目標数以上に開設するなど、大学全体の国際化に寄与している点は評価できる一方で、派遣・受入の学生数は、当初の目標を達成することができなかった。今後は、奨学金など、学生に対する安定した援助と事業運営のための財源確保に努めることに加え、理工系の学生の関心を喚起して参加者を増やすことなど、幅広い分野におけるグローバル人材の養成が望まれる。</p> <p>最後に、本事業による補助期間は終了したが、引き続き質の保証を伴う発展的な事業展開によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与していくことが期待される。</p>